

## 臨床腫瘍科

久田原郁夫

臨床腫瘍科は、平成 11 年に設立され、腫瘍内科、腫瘍外科、緩和ケア内科の 3 科の総合科となっています。所属する医師は、緩和ケア内科を除いてすべて兼任で各々の専門領域の化学療法を中心に診療をおこなっています。

毎週開催している臨床腫瘍科カンファレンスでは、外来化学療法室で発生した毒性の分析、検討および新規の症例検討をおこなっています。定期的行事として、Cancer Board, がん薬物療法委員会は毎月、当科が主体でおこなっています。また、がん診療に関連する様々なテーマでオンコロジーセミナーを全職員対象に 6 回講堂で開催しております。これらの行事はがんの診断、治療に関して総合的かつ横断的に討論し知識を深めるよい機会となっています。オンコロジーセミナーとは別にがんサポートチームセミナーとして年 6 回開催されています。

がんの種類は多彩でその臨床像も個人によって一様ではありません。また、新規の抗がん剤、分子標的薬が続々と発売され国内外で多くの臨床試験がおこなわれ治療方法も選択肢が広がってきています。各種の画像診断、病理診断および分子生物学的診断も日々進歩をとげています。このような環境で、診断、治療において主科のみならず個別のりかつ総合的な判断が求められる機会が増えてきています。またがん治療に特化した看護師、薬剤師が積極的に介入することで患者さんは多くの恩恵を受けています。このように今や、がん治療はチーム医療が基本となっておりますが、臨床腫瘍科はその司令塔の役目を担っていきたいと考えています。

### 【2015 年度 研究発表業績】

A-0

Umehara T, Okita Y, Nonaka M, Mori K, Kanemura Y, Kodama Y, Mano M, Kudawara I, Nakajima S : Choroid plexus metastasis of follicular thyroid carcinoma diagnosed due to intraventricular hemorrhage, Intern Med 54:1297-1302, 2015

Outani H, Hamada K, Imura Y, Oshima K, Sotobori T, Demizu Y, Kakunaga S, Joyama S, Imai R, Okimoto T, Naka N, Kudawara I, Ueda T, Araki N, Kamada T, Yoshikawa H : Comparison of clinical and functional outcome between surgical treatment and carbon ion radiotherapy for pelvic chondrosarcoma. Int J Clin Oncol 2016; 21(1): 186-193, 2016 年 2 月 1 日

A-2

青野奈々 : レゴラフェニブ「インフォームドコンセントのための図説シリーズ 抗悪性腫瘍薬分子標的治療薬 改訂版」西條長宏編 : p.77-79、医薬ジャーナル社、大阪、2015 年 11 月 15 日

B-2

Ueda T, Kakunaga S, Kudawara I : Two pediatric/adolescent cases of iliac bone sarcoma. The 3rd Korea-Japan Musculoskeletal Oncology Forum, Busan, South Korea, 2016 年 2 月 20 日

Imori Y, Kakunaga S, Kudawara I, Ueda T : Epithelioid angiosarcoma of small intestine presenting with metastatic bone pain: A case report, 20th CTOS Annual Meeting, Salt Lake City, USA, 2015年11月4日

#### B-4

青野奈々、和田知未、天野栄三、上田純子、福富景子、尾池真理、齊藤明音、井出恭子、道川綾加、廣常秀人 : 悪性腸腰筋症候群を呈し疼痛コントロールに難渋した原発不明癌の一例。第20回日本緩和医療学会学術大会、横浜、2015年6月19日

濱田健一郎、荒木信人、中 紀文、王谷英達、伊村慶紀、大島和也、藤本哲穂、外堀 司、城山 晋、角永茂樹、小島秀人、森 茂樹、名井 陽、久田原郁夫、上田孝文、青木康彰、吉川秀樹 : 腫瘍用人工関節術後20年以上経過した症例の術後成績。第48回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会、高松、2015年7月9日

王谷英達、中 紀文、伊村慶紀、大島和也、外堀 司、藤本哲穂、濱田健一郎、角永茂樹、城山 晋、森 茂樹、名井 陽、久田原郁夫、上田孝文、青木康彰、吉川秀樹 : 類上皮肉腫の治療成績。第48回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会、高松、2015年7月10日

王谷英達、中 紀文、伊村慶紀、大島和也、外堀 司、濱田 健一郎、角永茂樹、城山 晋、小島秀人、名井 陽、久田原郁夫、上田孝文、青木康彰、吉川秀樹 : 脊椎原発肉腫に対する治療経験。第48回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会、高松、2015年7月10日

#### B-6

久田原郁夫、角永茂樹、上田孝文 : 反復性臀部血腫について。第16回近畿骨軟部腫瘍談話会、大阪、2015年11月27日

久田原郁夫、角永茂樹、上田孝文 : 坐骨神経周囲に発生した脂肪肉腫。第143回関西骨軟部腫瘍研究会、大阪、2016年2月13日

久田原郁夫 : 小児母趾爪甲下に発生した軟部腫瘍。第82回関西SKR勉強会、大阪、2016年3月10日

的場あゆみ、安藤性實、小河原光正、木村 剛、宮本 智、井上敦夫、栗山啓子、児玉良典、真能正幸 : 肺癌診断時に甲状腺及び乳癌転移を認めた一例。第103回日本肺癌学会関西支部会、大阪、2016年2月20日

#### B-8

青野奈々 : 大腸癌における緩和ケアについて～当院の臨床経験から～。第4回大腸癌のより良い治療を考える会、大阪、2015年4月14日

青野奈々 : メサペインから他のオピオイドへの切り替えの検討。メサペイン症例検討会、大阪、2016年1月21日

青野奈々：オピオイドを開始するとき。市立池田病院 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会、大阪、2015年10月18日

青野奈々：「緩和ケア研修会の開催にあたって」「緩和ケア概論」「呼吸困難」、平成27年度国立病院機構 大阪医療センター がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会、大阪、2015年11月28、29日

青野奈々：オピオイドを開始するとき。堺市立総合医療センター がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会、大阪、2016年1月31日